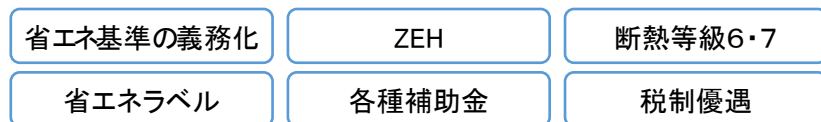


いま住宅では**省エネ**が非常に重視され、削減の取り組みや補助金が数多くあります。



みんな 省エネ

家づくりの関心が「省エネ」の一点に集中

行き過ぎた省エネは性能のバランスを歪めます。例：断熱のために窓がどんどん小さく。



断熱性能 ↑

明るさ・眺望・開放感 ↓

- とことん議論し、納得して決めたバランス
- × 「補助金が出るから」だけで決まる方向性

本シンポジウムでは、省エネ以外にどのような性能があるのかを再確認し、省エネで凝り固まった頭を柔らかくすることにトライします。

1 さまざまな視点を再認識

2 省エネはその1つと捉える

3 今回は、室内環境のうち
光・視環境 に着目

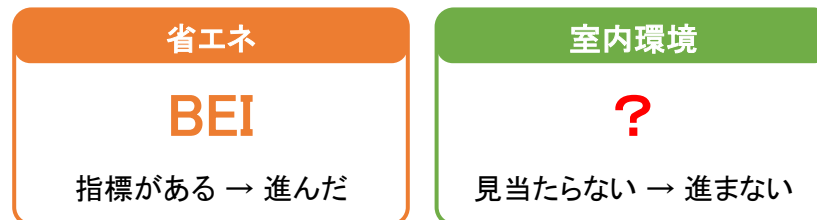
しかし、求められる性能は**省エネ**だけではありません。**室内環境**も極めて重要です。

住宅に求められる性能(住宅性能表示制度の分野を参考に整理)



省エネは数ある性能の1つ。室内環境(赤枠)も同じ。

省エネが進んだのは**BEI**という指標があったから。室内環境には指標が見当たりません。



室内環境の指標を充実させることが重要